

地域県土警察常任委員会資料

(令和7年4月21日)

[件 名]

■ 男女協働未来創造本部の取組状況について

【未来創造課、県民運動課】… 2ページ

男女協働未来創造本部

男女協働未来創造本部の取組状況について

令和7年4月21日
未来創造課・県民運動課

令和7年4月の鳥取県行政組織条例改正に伴い、倉吉市内（エースバック未来中心内）に男女協働未来創造本部を設置し、女性が働きやすく暮らしやすい社会づくりの運動展開を図りながら、男女が協働して未来を創造していく社会の実現に向けて施策展開をスタートしました。

1 男女協働未来創造本部発足式

本部発足と併せて、県民に向けた男女共同参画推進の拠点施設として「男女協働未来創造センター“よりん彩”」リニューアルオープンを記念して、看板除幕式を開催しました。

- (1) 日 時 令和7年4月1日（火）午前9時30分～
- (2) 場 所 エースバック未来中心内「よりん彩」玄関（倉吉市駄経寺町）
- (3) 内 容 新装看板除幕のほか、地元男女中学生バンドによるお祝い演奏
- (4) 来場者 県議有志、地元の住民活動団体の方々、マスコミ等 約50人



2 男女協働未来創造に係る県市町村担当課長会議

組織改正の概要や今年度事業の説明、男女共同参画センター設置に係る法改正の動向などについて、県・市町村間の情報共有・連絡調整の機会として開催しました。

- (1) 日 時 令和7年4月3日（木）午後2時～
- (2) 場 所 エースバック未来中心セミナールーム3（倉吉市駄経寺町）
- (3) 内 容 県の令和7年度組織改正概要、当初予算概要、県民運動展開の協力依頼 ほか
- (4) 出席者 県・市町村29名（リモート出席を含む）

3 話彩や（はなさいや）女性の未来おしゃべり広聴事業

男女問わず県民一人一人の多様な生き方や働き方、価値観や考えなどが尊重される社会を目指して、特に「女性が働きやすく暮らしやすい鳥取県」としていくため、「働きづらさ」や「生きづらさ」等の要因とされる固定的な役割分担意識や、性別に関するアンコンシャス・バイアスなどへの気づきを促し、課題や障壁を取り払っていく県民運動を展開していくため、広く県民の皆さんと家庭や地域などの日常における「性別に関するアンコンシャス・バイアス」とその影響などについて意見交換する「話彩や（はなさいや）女性の未来おしゃべり広聴事業」を開始しました。（写真は第1回の様子）

- (1) 日 時 令和7年4月12日（土）午後2時30分～
- (2) 参加者 北栄町男女共同参画推進会議（男性10名・女性5名）
- (3) 内 容 家庭や地域での男女の役割分担や、若年男女が地域に根付くための方策等について、日常生活やこれまでの人生経験を振り返りながらざっくばらんに意見交換
- (4) 主な意見
 - ・「男らしさ」「女らしさ」を言われて苦痛になったことはないが、職場などで勝手に役割を割り当てられることもあった。役割はそれぞれのコミュニケーションの中で納得し合えるかが大事。
 - ・「男は仕事、女は家庭」で育った。家庭教育や環境の影響が大きい。幼い頃からの意識醸成が肝要。
 - ・若者の県外流出や「帰ってこない」対策として、一方的なメッセージではなく中高生時代にいかに地域と関わりを持ち、他世代と交流し、地域のことを知るかが大事。双方向でコミュニケーションを図ってはどうか。



4 国との連携（「地域働き方・職場改革サポートチーム」による伴走支援への取組参画）

令和7年1月に国の「新しい地方経済・生活環境創生本部会議」において決定した「地方創生2.0の『基本的な考え方』」を踏まえて、「若者・女性にも選ばれる地方」の実現に向けた地域の取組を支援する「地域働き方・職場改革サポートチーム」が設置されました。

本県はこの取組の参画自治体として応募（全国68自治体（24県44市町村））しており、今後協力・助言など伴走支援を得ながら、誰もが働きやすく暮らしやすい環境づくりを進め、男女協働・女性活躍推進の運動展開を図ることとしています。